

社会福祉法人 めやす箱
就労部門
2024年度 事業計画

(1) 就労部門目標

法人理念及び基本方針を基に、2024年度部門目標を下記事項に定める。

- ① 「ニーズに応じたサービスの提供と質の向上」
- ② 「働きやすい環境づくり」
- ③ 「安定した事業運営」

(2) 就労部門運営方針

法人理念及び部門目標を基に、以下の運営方針で事業運営にあたる。

①ニーズに応じたサービスの提供と質の向上

法人理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」の実現に向け、満足度調査結果の改善に取り組んでいく。

- ・作業内容や作業工賃に対するニーズが多く上がっている為、取り組みたい作業、工程、目標工賃額等の聞き取り調査を行い、個別支援に反映させていく。また、作業種においても新たな開拓が必要であり、企業との連携、法人独自の取り組み等、工賃向上に向けて準備を進めていく。
- ・行事内容、頻度については一定の満足度向上が得られている。2024年度以降も就労支援に沿う形で行事内容を充実させ、実施頻度を高めていく。行事内容に関しては、ご利用者からの要望に沿った行事を提供することで、満足度向上に繋げていく。
- ・環境面に関して、外部からの視点を意識し、環境美化の促進を図っていく。また、職員の接遇面も強化を図り、ご利用者、保護者、関係機関が足を運びやすい事業所を目指していく。

②働きやすい環境づくり

法人理念である「職員が働きやすい環境づくり」を推進し、ワークライフバランスを意識した労働環境を構築していく。

- ・現場職員向けに2022年度から実施している「業務改善についてのアンケート」を継続的に行い、現場職員からのニーズを反映することで環境改善に取り組んでいく。
- ・管理者と職員が個別面談する機会を拡大し、現状の職責やキャリアビジョン、部門の方向性を綿密にすり合わせ、互いに納得できる労働内容、環境を提供していく。
- ・チーム作りに重要な人間力の向上に重点を置き、法人全体研修に加え、部門勉強会、事業所勉強会にも盛り込み、働く環境、チーム力の向上を図る。
- ・部門勉強会の内容に職員からの要望を盛り込むことで学ぶ意欲を育み、プロ意識の向上、支援力の向上を図る。

③安定した事業運営

4月より就労継続支援B型事業所「みのり」が開所を予定しており、9事業所で運営スタートとなる。倉敷市の就労系事業所は集客が難しい状況が続いており、現状のニーズに沿った運営体制の構築を目指していく。

- ・事業所の空き状況、作業内容、送迎エリアを記載した部門一覧を作成し、相談支援事業所等に定期的に発信を行うことで、集客の安定化を図っていく。
- ・相談支援事業所や支援学校にニーズ調査を行い、サービスに繋がりにくい要望の把握、受け入れ体制の構築を図っていく。2023年度のニーズとして多かった短時間利用、半日利用に関しては、急務として受け入れ体制を整えていく。
- ・平均工賃の向上、行事活動の拡大、地域との連携を強化し、事業所個々の特色を見出していく。2024年度は情報収集から着手まで取り組み、2025年度スタート時には特色のある事業運営体制を目指していく。
- ・長期的に経営を安定させる為に、企業や地域等、外部との連携強化を図り、就労部門の視野の拡大を図っていく。
- ・継続的にサービスが提供できるよう、人材確保、人材育成に取り組んでいく。特にサービス管理責任者を担える人材の育成は急務であり、経営の視点やサービス管理に関する勉強会を実施し、マネジメント能力の向上を図っていく。

(3) 就労部門事業展開

2024年4月に就労継続支援B型(20名):みのりが開所予定となっている。2024年度内に経営状況の安定が図れるよう、集客に努めていく。

(4) 就労部門年間計画

4月	経営戦略会議(工賃向上)、部門歓迎会
5月	保護者交流会(担当:管理者)、部門通信発行、第1回部門勉強会
6月	満足度調査振り返り、業務改善アンケート
7月	経営戦略会議(工賃向上)、サビ管研修
8月	
9月	部門研修(サービス向上)、部門通信発行
10月	経営戦略会議(工賃向上)、部門親睦会
11月	第2回部門勉強会
12月	
1月	経営戦略会議(工賃向上)、部門通信発行、業務改善振り返りアンケート
2月	研修発表会
3月	

※ 外部研修については、都度選考する。

2024年度 社会福祉法人 めやす箱
いっぽいっぽ 事業計画書
(就労継続支援B型・日中一時支援事業)

1. 基本方針

法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし、就労分野の特性を活かした福祉サービスの提供を行う。利用者のニーズに応じたサービスの提供を行うと共に、個別支援計画の作成から実行まで本人・保護者の要望を反映し、個別支援に取り組む。

2. 施設の概要

施設の名称	いっぽいっぽ
所在地	岡山県矢部 530-6
種類	就労継続支援B型
定員	就労継続支援B型(20名)
管理者	永田 和則
事業内容	ご利用者一人ひとりに合った作業や環境を提供し、やりがいや達成感を感じながら、作業能力の向上が出来るよう支援を行なう。また、個々のニーズを追求し、ご利用者の円滑な対人関係や精神面での支援、社会性の向上、自立生活に向けた生活支援を行なう。

3. (1) 就労部門事業目標

法人理念及び基本方針を基に、2024年度部門目標を下記事項に定める。

- ① 「 ニーズに応じたサービスの提供と質の向上 」
- ② 「 働きやすい環境づくり 」
- ③ 「 安定した事業運営 」

①ニーズに応じたサービスの提供と質の向上

法人理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」の実現に向け、満足度調査結果の改善に取り組んでいく。

- ・作業内容や作業工賃に対するニーズが多く上がっている為、取り組みたい作業、工程、目標工賃額等の聞き取り調査を行い、個別支援に反映させていく。また、作業種においても新たな開拓が必要であり、企業との連携、法人独自の取り組み等、工賃向上に向けて準備を進めていく。
- ・行事内容、頻度については一定の満足度向上が得られている。2024年度以降も就労支援に沿う形で行事内容を充実させ、実施頻度を高めていく。行事内容に関しては、ご利用者からの要望に沿った行事を提供することで、満足度向上に繋げていく。
- ・環境面に関して、外部からの視点を意識し、環境美化の促進を図っていく。また、職員の接遇面も強化を図り、ご利用者、保護者、関係機関が足を運びやすい事業所を目指していく。

②働きやすい環境づくり

法人理念である「職員が働きやすい環境づくり」を推進し、ワークライフバランスを意識した労働環境を構築していく。

- ・現場職員向けに 2022 年度から実施している「業務改善についてのアンケート」を継続的に行い、現場職員からのニーズを反映することで環境改善に取り組んでいく。
- ・管理者と職員が個別面談する機会を拡大し、現状の職責やキャリアビジョン、部門の方向性を綿密にすり合わせ、互いに納得できる労働内容、環境を提供していく。
- ・チーム作りに重要な人間力の向上に重点を置き、法人全体研修に加え、部門勉強会、事業所勉強会にも盛り込み、働く環境、チーム力の向上を図る。
- ・部門勉強会の内容に職員からの要望を盛り込むことで学ぶ意欲を育み、プロ意識の向上、支援力の向上を図る。

③安定した事業運営

4 月より就労継続支援 B 型事業所「みのり」が開所を予定しており、9 事業所で運営スタートとなる。倉敷市の就労系事業所は集客が難しい状況が続いており、現状のニーズに沿った運営体制の構築を目指していく。

- ・事業所の空き状況、作業内容、送迎エリアを記載した部門一覧を作成し、相談支援事業所等に定期的に発信を行うことで、集客の安定化を図っていく。
- ・相談支援事業所や支援学校にニーズ調査を行い、サービスに繋がりにくい要望の把握、受け入れ体制の構築を図っていく。2023 年度のニーズとして多かった短時間利用、半日利用に関しては、急務として受け入れ体制を整えていく。
- ・平均工賃の向上、行事活動の拡大、地域との連携を強化し、事業所個々の特色を見出していく。2024 年度は情報収集から着手まで取り組み、2025 年度スタート時には特色のある事業運営体制を目指していく。
- ・長期的に経営を安定させる為に、企業や地域等、外部との連携強化を図り、就労部門の視野の拡大を図っていく。
- ・継続的にサービスが提供できるよう、人材確保、人材育成に取り組んでいく。特にサービス管理責任者を担える人材の育成は急務であり、経営の視点やサービス管理に関する勉強会を実施し、マネジメント能力の向上を図っていく。

(2) 就労部門研修計画（研修会・交流会）

4 月	経営戦略会議（工賃向上）、部門歓迎会
5 月	保護者交流会（担当：管理者）、部門通信発行、第 1 回部門勉強会
6 月	満足度調査振り返り、業務改善アンケート
7 月	経営戦略会議（工賃向上）、サビ管研修
8 月	
9 月	部門研修（サービス向上）、部門通信発行
10 月	経営戦略会議（工賃向上）、部門親睦会
11 月	第 2 回部門勉強会
12 月	

1月	経営戦略会議（工賃向上）、部門通信発行、業務改善振り返りアンケート
2月	研修発表会
3月	

※ 外部研修については、都度選考する。

（3）就労部門事業展開

2024年4月に就労継続支援B型（20名）：みのりが開所予定となっている。2024年度内に経営状況の安定が図れるよう、集客に努めていく。

4. 事業目標（具体的取り組み）

法人理念・部門事業目標を加味した上で2024年度事業目標を下記事項に定める。

①ニーズに応じたサービスの提供と質の向上

現在利用をされている方のニーズにおいては、サービス満足度調査や要望書に挙げられる意見要望を真摯に受け止め、利用者満足度、サービスの向上を図っていく。作業内容、作業工賃に対してニーズが多く挙がっているため、ご利用者の取り組みたい作業、工程、目標工賃額などの聞き取りを行い、ご利用者の自己実現の達成が出来るよう支援に反映をさせていく。ご利用者が楽しむことが出来る行事や余暇活動については、今後も工夫を凝らしていくことで、来所や作業への励みとなるような活動を検討・企画をしていく。

②働きやすい環境づくり

法人理念である「職員が働きやすい環境づくり」に向け、業務改善アンケートや職員との面談を実施していくことで現場職員からの要望を聞き取り、改善に向けた取り組みを講じていくことで環境や業務の改善を進めていく。また、職員が描くキャリアデザインと、法人が求める人材とのマッチングを図り、個々の職員に合わせた計画的育成を行っていく。各職員の人間力向上に重点を置いた人材育成を行い、チームワークの向上に繋げていく。

③安定した事業運営

幅広い障がい特性の方々を受け入れができるよう適宜環境面を整えていく。同時に職員の支援力、アセスメント能力を高め、ご利用者のスキルアップや安定した利用へと繋げていく。新規利用者の確保に向けて相談支援事業所や、支援学校への営業実績を積み、営業力の向上を図っていく。

作業工賃は今後の事業運営のための課題として挙げられる。そのため、作業内容の精査やご利用者の作業能力の向上を行なっていく。また、2024年度においては自社製品における改革を行う期間として、新たな商品の開発を行なっていくことで、その後の工賃向上に繋げていけるよう準備を進めていく。

5. サービス向上（苦情解決・サービス満足度向上）への取り組み

直接支援の質向上や権利擁護に関する意識の向上は勿論、安全・安心に過ごしていただけるよう、環境整備についても具体的な取り組みを行い、サービスの向上を目指す。

苦情処理体制の整備・拡充を図るとともに、苦情の際は迅速且つ誠意ある対応を行い、利用者の信頼と満足度を損なわぬよう努める。また、法人第三者委員とも連携を図っていく。

サービス向上部会と連携し、全事業所を対象とした満足度調査等を行い、利用者一人一人の意見・要望に応じていく。

6. 研修計画

職員一人一人の能力の向上、組織体としての能力向上を目的とする。

法人研修、部門勉強会、事業所勉強会、個人研修（外部研修）を中心に活動を行う。

また、就労部門として人材育成の観点から専門的知識の向上を図る勉強会にも取り組む。

7. 防災計画

事業所内の防災設備が円滑に機能するよう、自主点検を励行し災害時の被害拡大の防止に努める。

火災・地震・水害が発生した場合、ご利用者に安全確保が迅速に行えるよう、年2回以上の防災訓練を実施する。

法人防災委員会と連携し、緊急時の対応や日々の災害対応への啓蒙活動を行う。

事業所内における利用者の防災意識を高めるべく、啓蒙活動等に取り組む。

8. 車両安全運行計画

事業所送迎サービスを安全且つ安心して運行できるよう、職員一人一人の安全運行意識を向上させ事故を無くす取り組みを行う。

万が一の事故時の対応が迅速にとれるよう、非常時の連絡体制の更なる強化を行う。

法人車両安全運行委員会と連携し、緊急時の対応や日々の安全運行対応への啓蒙活動を行う。

9. 安全衛生計画

事業所における衛生面やハード面の清潔・整備について、職員一人一人が常に意識し、業務マニュアルに組み込んでいく。また、ノロウイルス及びインフルエンザ等の感染症対策、啓発活動に積極的に取り組む。また、より良い環境作りを積極的に行い、職員全体の環境美化に対する意識の向上にも取り組む。衛生面において法人安全衛生委員会との連携を図っていく。

10. 広報計画

事業所のパソコンやその他周辺機器の管理を行い、適切な情報の取り扱いに努める。

また、記憶媒体の取り扱いの徹底も併せて行う。

法人広報誌やホームページを活用し事業所の活動内容を保護者、地域の方々へ伝えていく。

11. 職員配置予定表 (2024年4月1日)

(単位：名)

	管理者	サービス 管理責任者	目標工賃 達成指導員	職業指導員	生活支援員	合計
常勤職員	1(※)	1(※)	1		2	6
非常勤職員				1	1	

※管理者、サービス管理責任者は兼務

12. 職員の勤務体制予定表 (2024年4月1日)

勤務	時間	労働時間（休憩時間）
A 勤	7：45 ～ 16：45	8 時間（1 時間休憩）
B 勤	8：00 ～ 17：00	8 時間（1 時間休憩）
C 勤	8：45 ～ 17：00	7.5 時間（45 分休憩）

13. 利用延べ人数及び開所予定

① 開所状況（就労継続支援 B 型）

（単位：日）

	2024 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	2025 年 1 月	2 月	3 月	合計
開所数	22	22	22	23	21	21	23	22	22	22	20	22	262

② 就労継続支援 B 型実人数（定員 20 名）

（単位：名）

	2024 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	2025 年 1 月	2 月	3 月	合計
述べ数	440	440	440	460	420	420	460	440	440	440	400	440	5,240

① ③ 日中一時支援事業実人数（定員 10 名）

（単位：名）

	2024 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	2025 年 1 月	2 月	3 月	合計
述べ数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60

14. 年間行事（案）

実施月	実施行事
4 月	行事(花見)
5 月	避難訓練(火災)
6 月	行事(警察署見学)
7 月	避難訓練(水害)・グループ別外出活動(買い物)
8 月	外出活動(ライフパーク倉敷・プラネタリウム)
9 月	ランチ会
10 月	避難訓練(震災)・行事(水族館)
11 月	ランチ会
12 月	忘年会(外食)
1 月	避難訓練(不審者)・初詣
2 月	グループ別外出活動(買い物)

3月	お疲れ様会
----	-------

15. 資金計画

別紙収支予算書のとおり。

2024年度 社会福祉法人 めやす箱
オープン・セサミ 事業計画書
(就労継続支援B型)

1. 基本方針

法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし、就労分野の特性を活かした福祉サービスの提供を行う。利用者のニーズに応じたサービスの提供を行うと共に、個別支援計画の作成から実行まで本人・保護者の要望を反映し、個別支援に取り組む。

2. 施設の概要

施設の名称	オープン・セサミ
所在地	岡山県倉敷市酒津 2512-3
種類	就労継続支援B型
定員	就労継続支援B型(20名)
管理者	森田 満
事業内容	ご利用者一人一人に合った作業や環境を提供し、やりがいや達成感を感じながら、作業スキルが向上出来るように支援を行う。ご利用者がニーズに応じてステップアップを描けるよう、施設外作業の整備や様々な社会活動の見学及び体験の機会を提供していく。また、幅広い障がい特性の方の受け入れが出来るよう支援面と環境面を整え、特性に応じた就労支援及び生活支援を行う。

3. (1) 就労部門事業目標

法人理念及び基本方針を基に、2024年度部門目標を下記事項に定める。

- ① 「 ニーズに応じたサービスの提供と質の向上 」
- ② 「 働きやすい環境づくり 」
- ③ 「 安定した事業運営 」

①ニーズに応じたサービスの提供と質の向上

法人理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」の実現に向け、満足度調査結果の改善に取り組んでいく。

- ・作業内容や作業工賃に対するニーズが多く上がっている為、取り組みたい作業、工程、目標工賃額等の聞き取り調査を行い、個別支援に反映させていく。また、作業種においても新たな開拓が必要であり、企業との連携、法人独自の取り組み等、工賃向上に向けて準備を進めていく。
- ・行事内容、頻度については一定の満足度向上が得られている。2024年度以降も就労支援に沿う形で行事内容を充実させ、実施頻度を高めていく。行事内容に関しては、ご利用者からの要望に沿った行事を提供することで、満足度向上に繋げていく。
- ・環境面に関して、外部からの視点を意識し、環境美化の促進を図っていく。また、職員の接遇面も強化を図り、ご利用者、保護者、関係機関が足を運びやすい事業所を目指していく。

②働きやすい環境づくり

法人理念である「職員が働きやすい環境づくり」を推進し、ワークライフバランスを意識した労働環境を構築していく。

- ・現場職員向けに 2022 年度から実施している「業務改善についてのアンケート」を継続的に行い、現場職員からのニーズを反映することで環境改善に取り組んでいく。
- ・管理者と職員が個別面談する機会を拡大し、現状の職責やキャリアビジョン、部門の方向性を綿密にすり合わせ、互いに納得できる労働内容、環境を提供していく。
- ・チーム作りに重要な人間力の向上に重点を置き、法人全体研修に加え、部門勉強会、事業所勉強会にも盛り込み、働く環境、チーム力の向上を図る。
- ・部門勉強会の内容に職員からの要望を盛り込むことで学ぶ意欲を育み、プロ意識の向上、支援力の向上を図る。

③安定した事業運営

4 月より就労継続支援 B 型事業所「みのり」が開所を予定しており、9 事業所で運営スタートとなる。倉敷市の就労系事業所は集客が難しい状況が続いており、現状のニーズに沿った運営体制の構築を目指していく。

- ・事業所の空き状況、作業内容、送迎エリアを記載した部門一覧を作成し、相談支援事業所等に定期的に発信を行うことで、集客の安定化を図っていく。
- ・相談支援事業所や支援学校にニーズ調査を行い、サービスに繋がりにくい要望の把握、受け入れ体制の構築を図っていく。2023 年度のニーズとして多かった短時間利用、半日利用に関しては、急務として受け入れ体制を整えていく。
- ・平均工賃の向上、行事活動の拡大、地域との連携を強化し、事業所個々の特色を見出していく。2024 年度は情報収集から着手まで取り組み、2025 年度スタート時には特色のある事業運営体制を目指していく。
- ・長期的に経営を安定させる為に、企業や地域等、外部との連携強化を図り、就労部門の視野の拡大を図っていく。
- ・継続的にサービスが提供できるよう、人材確保、人材育成に取り組んでいく。特にサービス管理責任者を担える人材の育成は急務であり、経営の視点やサービス管理に関する勉強会を実施し、マネジメント能力の向上を図っていく。

(2) 就労部門研修計画（研修会・交流会）

4 月	経営戦略会議（工賃向上）、部門歓迎会
5 月	保護者交流会（担当：管理者）、部門通信発行、第 1 回部門勉強会
6 月	満足度調査振り返り、業務改善アンケート
7 月	経営戦略会議（工賃向上）、サビ管研修
8 月	
9 月	部門研修（サービス向上）、部門通信発行
10 月	経営戦略会議（工賃向上）、部門親睦会
11 月	第 2 回部門勉強会

12月	
1月	経営戦略会議（工賃向上）、部門通信発行、業務改善振り返りアンケート
2月	研修発表会
3月	

※ 外部研修については、都度選考する。

（3）就労部門事業展開

2024年4月に就労継続支援B型（20名）：みのりが開所予定となっている。2024年度内に経営状況の安定が図れるよう、集客に努めていく。

4. 事業目標（具体的取り組み）

法人理念・部門事業目標を加味した上で2024年度事業目標を下記事項に定める。

①ニーズに応じたサービスの提供と質の向上

要望を多く頂いている作業工賃アップと作業種の充実に重点を置き、新たな作業種と作業機会の確保に取り組んでいく。又、ご利用者の取り組む工程の幅を広げ、スキルアップを図ることで工賃向上へと繋げていく。5SチェックとKYTを活用し、具体的環境改善に取り組むことで快適で安全な職場環境を追求していく。

②働きやすい環境づくり

業務改善アンケートを通じて職員の意見を吸い上げ、具体的改善に事業所一丸となって取り組むことでチームワークを高める。又、働きやすい職場環境を自分たちで作っていく意識、行動を標準化していく。

③安定した事業運営

広報活動とイベント出店を通じて、地域及び関係機関とのネットワーク作りに取り組み、新規利用者獲得や工賃アップに向けた土台を構築する。2026年度平均工賃月額15,000円以上を見据えて、必要な情報収集を行い、職員の就労支援力を高めていく。

5. サービス向上（苦情解決・サービス満足度向上）への取り組み

直接支援の質向上や権利擁護に関する意識の向上は勿論、安全・安心に過ごしていただけるよう、環境整備についても具体的な取り組みを行い、サービスの向上を目指す。

苦情処理体制の整備・拡充を図るとともに、苦情の際は迅速且つ誠意ある対応を行い、利用者の信頼と満足度を損なわぬよう努める。また、法人第三者委員とも連携を図っていく。

サービス向上部会と連携し、全事業所を対象とした満足度調査等を行い、利用者一人一人の意見・要望に応じていく。」

6. 研修計画

職員一人一人の能力の向上、組織体としての能力向上を目的とする。

法人研修、部門勉強会、事業所勉強会、個人研修（外部研修）を中心に活動を行う。

また、就労部門として人材育成の観点から専門的知識の向上を図る勉強会にも取り組む。

7. 防災計画

事業所内の防災設備が円滑に機能するよう、自主点検を励行し災害時の被害拡大の防止に努める。
火災・地震・水害が発生した場合、ご利用者に安全確保が迅速に行えるよう、年2回以上の防災訓練を実施する。

法人防災委員会と連携し、緊急時の対応や日々の災害対応への啓蒙活動を行う。

事業所内における利用者の防災意識を高めるべく、啓蒙活動等に取り組む。

8. 車両安全運行計画

事業所送迎サービスを安全且つ安心して運行できるよう、職員一人一人の安全運行意識を向上させ事故を無くす取り組みを行う。

万が一の事故時の対応が迅速にとれるよう、非常時の連絡体制の更なる強化を行う。

法人車両安全運行委員会と連携し、緊急時の対応や日々の安全運行対応への啓蒙活動を行う。

9. 安全衛生計画

事業所における衛生面やハード面の清潔・整備について、職員一人一人が常に意識し、業務マニュアルに組み込んでいく。また、ノロウイルス及びインフルエンザ等の感染症対策、啓発活動に積極的に取り組む。また、より良い環境作りを積極的に行い、職員全体の環境美化に対する意識の向上にも取り組む。衛生面において法人安全衛生委員会との連携を図っていく。

10. 広報計画

事業所のパソコンやその他周辺機器の管理を行い、適切な情報の取り扱いに努める。

また、記憶媒体の取り扱いの徹底も併せて行う。

法人広報誌やホームページを活用し事業所の活動内容を保護者、地域の方々へ伝えていく。

11. 職員配置予定表 (2024年4月1日)

(単位：名)

	管理者	サービス 管理責任者	目標工賃 達成指導員	職業指導員	生活支援員	合計
常勤職員	1 (※)	1	1	1	2	8
非常勤職員					2	

※管理者はワークスめやす箱と兼務

12. 職員の勤務体制予定表 (2024年4月1日)

勤務	時間	労働時間 (休憩時間)
A 勤	8:00 ~ 17:00	8 時間 (1 時間休憩)
B 勤	8:15 ~ 17:00	8 時間 (45 分休憩)
C 勤	8:45 ~ 17:00	7.5 時間 (45 分休憩)

13. 利用延べ人数及び開所予定

① 開所状況 (就労継続支援B型)

(単位:日)

	2024 年 4月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	2025 年 1月	2 月	3 月	合計
開所数	22	22	22	23	21	21	23	22	22	22	20	22	262

② 就労継続支援B型実人数 (定員20名)

(単位:名)

	2024 年 4月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	2025 年 1月	2 月	3 月	合計
述べ数	440	440	440	460	420	420	460	440	440	440	400	440	5,240

14. 年間行事(案)

実施月	実 施 行 事
4月	花見
5月	避難訓練(火災)
6月	外出活動
7月	避難訓練(水害)
8月	納涼祭
9月	茶話会
10月	避難訓練(震災)
11月	日帰り旅行
12月	クリスマス会
1月	避難訓練(不審者)
2月	外出活動
3月	茶話会

15. 資金計画

別紙収支予算書のとおり。

2024年度 社会福祉法人 めやす箱
くら이프 事業計画書
(就労継続支援B型)

1. 基本方針

法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし、就労分野の特性を活かした福祉サービスの提供を行う。利用者のニーズに応じたサービスの提供を行うと共に、個別支援計画の作成から実行まで本人・保護者の要望を反映し、個別支援に取り組む。

2. 施設の概要

施設の名称	くら이프
所在地	岡山県倉敷市宮前 588
種類	就労継続支援B型
定員	就労継続支援B型 (20名)
管理者	森 麻衣
事業内容	幅広いニーズや障がい特性に対応できるような環境設定を行い、個々に合わせた支援を行う。個々のアセスメントを強化し、作業とのマッチングを行うことで工賃向上に努めていく。また、他者との関わりや社会経験を視野に入れた行事活動を取り入れ、様々な経験を積んでいくことで、社会性の向上を図っていく。

3. (1) 就労部門事業目標

法人理念及び基本方針を基に、2024年度部門目標を下記事項に定める。

- ① 「 ニーズに応じたサービスの提供と質の向上 」
- ② 「 働きやすい環境づくり 」
- ③ 「 安定した事業運営 」

①ニーズに応じたサービスの提供と質の向上

法人理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」の実現に向け、満足度調査結果の改善に取り組んでいく。

- ・作業内容や作業工賃に対するニーズが多く上がっている為、取り組みたい作業、工程、目標工賃額等の聞き取り調査を行い、個別支援に反映させていく。また、作業種においても新たな開拓が必要であり、企業との連携、法人独自の取り組み等、工賃向上に向けて準備を進めていく。
- ・行事内容、頻度については一定の満足度向上が得られている。2024年度以降も就労支援に沿う形で行事内容を充実させ、実施頻度を高めていく。行事内容に関しては、ご利用者からの要望に沿った行事を提供することで、満足度向上に繋げていく。
- ・環境面に関して、外部からの視点を意識し、環境美化の促進を図っていく。また、職員の接遇面も強化を図り、ご利用者、保護者、関係機関が足を運びやすい事業所を目指していく。

②働きやすい環境づくり

法人理念である「職員が働きやすい環境づくり」を推進し、ワークライフバランスを意識した労働環境を構築していく。

- ・現場職員向けに 2022 年度から実施している「業務改善についてのアンケート」を継続的に行い、現場職員からのニーズを反映することで環境改善に取り組んでいく。
- ・管理者と職員が個別面談する機会を拡大し、現状の職責やキャリアビジョン、部門の方向性を綿密にすり合わせ、互いに納得できる労働内容、環境を提供していく。
- ・チーム作りに重要な人間力の向上に重点を置き、法人全体研修に加え、部門勉強会、事業所勉強会にも盛り込み、働く環境、チーム力の向上を図る。
- ・部門勉強会の内容に職員からの要望を盛り込むことで学ぶ意欲を育み、プロ意識の向上、支援力の向上を図る。

③安定した事業運営

4 月より就労継続支援 B 型事業所「みのり」が開所を予定しており、9 事業所で運営スタートとなる。倉敷市の就労系事業所は集客が難しい状況が続いており、現状のニーズに沿った運営体制の構築を目指していく。

- ・事業所の空き状況、作業内容、送迎エリアを記載した部門一覧を作成し、相談支援事業所等に定期的に発信を行うことで、集客の安定化を図っていく。
- ・相談支援事業所や支援学校にニーズ調査を行い、サービスに繋がりにくい要望の把握、受け入れ体制の構築を図っていく。2023 年度のニーズとして多かった短時間利用、半日利用に関しては、急務として受け入れ体制を整えていく。
- ・平均工賃の向上、行事活動の拡大、地域との連携を強化し、事業所個々の特色を見出していく。2024 年度は情報収集から着手まで取り組み、2025 年度スタート時には特色のある事業運営体制を目指していく。
- ・長期的に経営を安定させる為に、企業や地域等、外部との連携強化を図り、就労部門の視野の拡大を図っていく。
- ・継続的にサービスが提供できるよう、人材確保、人材育成に取り組んでいく。特にサービス管理責任者を担える人材の育成は急務であり、経営の視点やサービス管理に関する勉強会を実施し、マネジメント能力の向上を図っていく。

(2) 就労部門年間計画

4 月	経営戦略会議（工賃向上）、部門歓迎会
5 月	保護者交流会（担当：管理者）、部門通信発行、第 1 回部門勉強会
6 月	満足度調査振り返り、業務改善アンケート
7 月	経営戦略会議（工賃向上）、サビ管研修
8 月	
9 月	部門研修（サービス向上）、部門通信発行
10 月	経営戦略会議（工賃向上）、部門親睦会
11 月	第 2 回部門勉強会

12月	
1月	経営戦略会議（工賃向上）、部門通信発行、業務改善振り返りアンケート
2月	研修発表会
3月	

※ 外部研修については、都度選考する。

（3）就労部門事業展開

2024年4月に就労継続支援B型（20名）：みのりが開所予定となっている。2024年度内に経営状況の安定が図れるよう、集客に努めていく。

4. 事業目標（具体的取り組み）

法人理念・部門事業目標を加味した上で2024年度事業目標を下記事項に定める。

①ニーズに応じたサービスの提供と質の向上

ご利用者やご家族との面談等を通じてニーズの把握に努め、一人ひとりが様々な作業に携わっていただけることに重点を置き、作業工程の細分化や新たな作業種の取入れを積極的に行っていく。事業所独自のアセスメントシートを作成・活用することで、就労支援だけではなく社会性においても強化を図り、工賃向上を目指す。また、サービス満足度調査で挙がっていたご意見を真摯に受け止め、職員の接遇面における勉強会の実施や課題改善への取り組みを行い、質の高いサービス提供に努めていく。

②働きやすい環境づくり

ワークライフバランスを意識した労働環境を整えていくために、業務改善アンケートや自己申告書を基に、職員一人ひとりの意見抽出を行い、環境を整えていく。業務の効率化、簡素化を徹底的に図り、職責に加え職員のストレングスに着目した業務分担を行っていくことで、職務に対する満足度やモチベーション向上に繋げていく。また、職員との面談を定期的実施し、課題解決に向けて全員が意見の出しやすいチームとなるよう環境づくりに努めていく。

③安定した事業運営

サービス満足度調査で挙がっていた作業種の選択の実現に向け、企業や地域との繋がりを図り、新たな作業種の開拓に努めていく。要望の高い行事活動においては、作業では経験できない買い物活動等の行事を計画、実施していくことでご利用者の満足度向上へと結び付け、安定した利用に繋げていく。また、支援学校からの実習生の受け入れを継続的に行いながら、支援学校との連携や情報収集を図り、ニーズに応じられる事業所として安定した事業運営を行っていく。

5. サービス向上（苦情解決・サービス満足度向上）への取り組み

直接支援の質向上や権利擁護に関する意識の向上は勿論、安全・安心に過ごしていただけるよう、環境整備についても具体的な取り組みを行い、サービスの向上を目指す。

苦情処理体制の整備・拡充を図るとともに、苦情の際は迅速且つ誠意ある対応を行い、利用者の信頼と満足度を損なわぬよう努める。また、法人第三者委員とも連携を図っていく。

サービス向上部会と連携し、全事業所を対象とした満足度調査等を行い、利用者一人一人の

意見・要望に応じていく。

6. 研修計画

職員一人一人の能力の向上、組織体としての能力向上を目的とする。

法人研修、部門勉強会、事業所勉強会、個人研修（外部研修）を中心に活動を行う。

また、就労部門として人材育成の観点から専門的知識の向上を図る勉強会にも取り組む。

7. 防災計画

事業所内の防災設備が円滑に機能するよう、自主点検を励行し災害時の被害拡大の防止に努める。

火災・地震・水害が発生した場合、ご利用者に安全確保が迅速に行えるよう、年2回以上の防災訓練を実施する。

法人防災委員会と連携し、緊急時の対応や日々の災害対応への啓蒙活動を行う。

事業所内における利用者の防災意識を高めるべく、啓蒙活動等に取り組む。

8. 車両安全運行計画

事業所送迎サービスを安全且つ安心して運行できるよう、職員一人一人の安全運行意識を向上させ事故を無くす取り組みを行う。

万が一の事故時の対応が迅速にとれるよう、非常時の連絡体制の更なる強化を行う。

法人車両安全運行委員会と連携し、緊急時の対応や日々の安全運行対応への啓蒙活動を行う。

9. 安全衛生計画

事業所における衛生面やハード面の清潔・整備について、職員一人一人が常に意識し、業務マニュアルに組み込んでいく。また、ノロウイルス及びインフルエンザ等の感染症対策、啓発活動に積極的に取り組む。また、より良い環境作りを積極的に行い、職員全体の環境美化に対する意識の向上にも取り組む。衛生面において法人安全衛生委員会との連携を図っていく。

10. 広報計画

事業所のパソコンやその他周辺機器の管理を行い、適切な情報の取り扱いに努める。

また、記憶媒体の取り扱いの徹底も併せて行う。

法人広報誌やホームページを活用し事業所の活動内容を保護者、地域の方々へ伝えていく。

11. 職員配置予定表 (2024年4月1日)

(単位：名)

	管理者	サービス 管理責任者	目標工賃 達成指導員	職業指導員	生活支援員	合計
常勤職員	1(※)	1(※)	1		2	6
非常勤職員				1	1	

※管理者はサビ管と兼務

12. 職員の勤務体制予定表 (2024年4月1日)

勤務	時間	労働時間（休憩時間）
A 勤	7:30 ~ 16:30	8 時間（1 時間休憩）
B 勤	8:00 ~ 17:00	8 時間（1 時間休憩）

13. 利用延べ人数及び開所予定

① 開所状況（就労継続支援 B 型）（単位：日）

	2024 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	2025 年 1 月	2 月	3 月	合計
開所数	22	22	22	23	21	21	23	22	22	22	20	22	262

② 就労継続支援 B 型実人数（定員 20 名）（単位：名）

	2024 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	2025 年 1 月	2 月	3 月	合計
述べ数	440	440	440	460	420	420	460	440	440	440	400	440	5,240

14. 年間行事（案）

実施月	実施行事
4 月	親睦会（花見）
5 月	避難訓練（火災）
6 月	外出活動（買い物活動①）
7 月	避難訓練（水害）
8 月	外出活動（買い物活動②）
9 月	秋祭り
10 月	避難訓練（震災）
11 月	外出活動（工場見学）
12 月	忘年会
1 月	初詣・避難訓練（不審者）
2 月	室内レクリエーション
3 月	お疲れ様会

15. 資金計画

別紙収支予算書のとおり。

2024年度 社会福祉法人 めやす箱
ワークスめやす箱 事業計画書
(就労継続支援A型・就労継続支援B型)

1. 基本方針

法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし、就労分野の特性を活かした福祉サービスの提供を行う。利用者のニーズに応じたサービスの提供を行うと共に、個別支援計画の作成から実行まで本人・保護者の要望を反映し、個別支援に取り組む。

2. 施設の概要

施設の名称	ワークスめやす箱
所在地	岡山県倉敷市酒津 2516-8
種類	就労継続支援A型・就労継続支援B型
定員	就労継続支援A型(10名)・就労継続支援B型(10名)
管理者	森田 満
事業内容	就労継続支援A型では、清掃事業・印刷事業を行う。外部の受注をメインに施設外作業請負契約を結び、請負先の要望に応じて対応する。 就労継続支援B型では、委託作業や施設外作業を通し、やりがいや達成感が得られ、作業に対する意識が高められるように作業支援を行っていく。社会生活、日常生活面においても利用者個々のニーズに応じた支援を行う。

3. (1) 就労部門事業目標

法人理念及び基本方針を基に、2024年度部門目標を下記事項に定める。

- ① 「 ニーズに応じたサービスの提供と質の向上 」
- ② 「 働きやすい環境づくり 」
- ③ 「 安定した事業運営 」

①ニーズに応じたサービスの提供と質の向上

法人理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」の実現に向け、満足度調査結果の改善に取り組んでいく。

- ・作業内容や作業工賃に対するニーズが多く上がっている為、取り組みたい作業、工程、目標工賃額等の聞き取り調査を行い、個別支援に反映させていく。また、作業種においても新たな開拓が必要であり、企業との連携、法人独自の取り組み等、工賃向上に向けて準備を進めていく。
- ・行事内容、頻度については一定の満足度向上が得られている。2024年度以降も就労支援に沿う形で行事内容を充実させ、実施頻度を高めていく。行事内容に関しては、ご利用者からの要望に沿った行事を提供することで、満足度向上に繋げていく。
- ・環境面に関して、外部からの視点を意識し、環境美化の促進を図っていく。また、職員の接遇面も強化を図り、ご利用者、保護者、関係機関が足を運びやすい事業所を目指していく。

②働きやすい環境づくり

法人理念である「職員が働きやすい環境づくり」を推進し、ワークライフバランスを意識した労働環境を構築していく。

- ・現場職員向けに 2022 年度から実施している「業務改善についてのアンケート」を継続的に行い、現場職員からのニーズを反映することで環境改善に取り組んでいく。
- ・管理者と職員が個別面談する機会を拡大し、現状の職責やキャリアビジョン、部門の方向性を綿密にすり合わせ、互いに納得できる労働内容、環境を提供していく。
- ・チーム作りに重要な人間力の向上に重点を置き、法人全体研修に加え、部門勉強会、事業所勉強会にも盛り込み、働く環境、チーム力の向上を図る。
- ・部門勉強会の内容に職員からの要望を盛り込むことで学ぶ意欲を育み、プロ意識の向上、支援力の向上を図る。

③安定した事業運営

4 月より就労継続支援 B 型事業所「みのり」が開所を予定しており、9 事業所で運営スタートとなる。倉敷市の就労系事業所は集客が難しい状況が続いており、現状のニーズに沿った運営体制の構築を目指していく。

- ・事業所の空き状況、作業内容、送迎エリアを記載した部門一覧を作成し、相談支援事業所等に定期的に発信を行うことで、集客の安定化を図っていく。
- ・相談支援事業所や支援学校にニーズ調査を行い、サービスに繋がりにくい要望の把握、受け入れ体制の構築を図っていく。2023 年度のニーズとして多かった短時間利用、半日利用に関しては、急務として受け入れ体制を整えていく。
- ・平均工賃の向上、行事活動の拡大、地域との連携を強化し、事業所個々の特色を見出していく。2024 年度は情報収集から着手まで取り組み、2025 年度スタート時には特色のある事業運営体制を目指していく。
- ・長期的に経営を安定させる為に、企業や地域等、外部との連携強化を図り、就労部門の視野の拡大を図っていく。
- ・継続的にサービスが提供できるよう、人材確保、人材育成に取り組んでいく。特にサービス管理責任者を担える人材の育成は急務であり、経営の視点やサービス管理に関する勉強会を実施し、マネジメント能力の向上を図っていく。

(2) 就労部門年間計画

4 月	経営戦略会議（工賃向上）、部門歓迎会
5 月	保護者交流会（担当：管理者）、部門通信発行、第 1 回部門勉強会
6 月	満足度調査振り返り、業務改善アンケート
7 月	経営戦略会議（工賃向上）、サビ管研修
8 月	
9 月	部門研修（サービス向上）、部門通信発行
10 月	経営戦略会議（工賃向上）、部門親睦会
11 月	第 2 回部門勉強会

12月	
1月	経営戦略会議（工賃向上）、部門通信発行、業務改善振り返りアンケート
2月	研修発表会
3月	

※ 外部研修については、都度選考する。

（3）就労部門事業展開

2024年4月に就労継続支援B型（20名）：みのりが開所予定となっている。2024年度内に経営状況の安定が図れるよう、集客に努めていく。

4. 事業目標（具体的取り組み）

法人理念・部門事業目標を加味した上で2024年度事業目標を下記事項に定める。

① ニーズに応じたサービスの提供と質の向上

サービス満足度調査に挙がる意見要望を真摯に受け止め、サービスの質の向上、利用者満足度の向上を図ると共に、様々なニーズに対応できる体制の構築を目指していく。

A型については、利用者一人一人の作業スキル向上に取り組み、ステップアップに向けた就職活動を随時行っていく。B型については、工賃判定表の活用と新規請負作業の開拓に継続して取り組み、ご利用者の就労意欲向上やステップアップの希望増加に繋げる。また、作業だけでなくご利用者が楽しむことの出来る行事の継続、増加を行い様々なニーズに応えていく。

② 働きやすい環境づくり

年に1度実施している、職員へのアンケートや自己申告書にて上がってくる意見や要望を真摯に受け止め、早急に解決できるよう努めていく。また職員面談や聞き取りを定期的に行い、業務の課題抽出や改善、意見の反映を事業所職員全員で行い、チームワークの向上を図ることで働きやすい環境を整えていく。

④ 安定した事業運営

地域の相談支援事業所を中心に関係機関と繋がりを持ち、集客の安定の安定化を図る。また、事業所の特色を活かすことや様々なケース、障害種別、短時間や半日利用等の多様なニーズに応えられるよう環境を整え、選ばれる事業所づくりを行っていく。工賃向上や人材育成等、ご利用者の満足度が向上する取り組みについても強化し、安定した事業運営を図っていく。

5. サービス向上（苦情解決・サービス満足度向上）への取り組み

直接支援の質向上や権利擁護に関する意識の向上は勿論、安全・安心に過ごしていただけるよう、環境整備についても具体的な取り組みを行い、サービスの向上を目指す。

苦情処理体制の整備・拡充を図るとともに、苦情の際は迅速且つ誠意ある対応を行い、利用者の信頼と満足度を損なわぬよう努める。また、法人第三者委員とも連携を図っていく。

サービス向上部会と連携し、全事業所を対象とした満足度調査等を行い、利用者一人一人の意見・要望に応えていく。

6. 研修計画

職員一人一人の能力の向上、組織体としての能力向上を目的とする。

法人研修、部門勉強会、事業所勉強会、個人研修（外部研修）を中心に活動を行う。

また、就労部門として人材育成の観点から専門的知識の向上を図る勉強会にも取り組む。

7. 防災計画

事業所内の防災設備が円滑に機能するよう、自主点検を励行し災害時の被害拡大の防止に努める。

火災・地震・水害が発生した場合、ご利用者に安全確保が迅速に行えるよう、年2回以上の防災訓練を実施する。

法人防災委員会と連携し、緊急時の対応や日々の災害対応への啓蒙活動を行う。

事業所内における利用者の防災意識を高めるべく、啓蒙活動等に取り組む。

8. 車両安全運行計画

事業所送迎サービスを安全且つ安心して運行できるよう、職員一人一人の安全運行意識を向上させ事故を無くす取り組みを行う。

万が一の事故時の対応が迅速にとれるよう、非常時の連絡体制の更なる強化を行う。

法人車両安全運行委員会と連携し、緊急時の対応や日々の安全運行対応への啓蒙活動を行う。

9. 安全衛生計画

事業所における衛生面やハード面の清潔・整備について、職員一人一人が常に意識し、業務マニュアルに組み込んでいく。また、ノロウイルス及びインフルエンザ等の感染症対策、啓発活動に積極的に取り組む。また、より良い環境作りを積極的に行い、職員全体の環境美化に対する意識の向上にも取り組む。衛生面において法人安全衛生委員会との連携を図っていく。

10. 広報計画

事業所のパソコンやその他周辺機器の管理を行い、適切な情報の取り扱いに努める。

また、記憶媒体の取り扱いの徹底も併せて行う。

法人広報誌やホームページを活用し事業所の活動内容を保護者、地域の方々へ伝えていく。

11. 職員配置予定表 (2024年4月1日)

(単位：名)

	管理者	サービス 管理責任者	目標工賃 達成指導員	職業指導員	生活支援員	合計
常勤職員	1	1	1		2	9
非常勤職員				3	1	

※管理者はオープン・セサミと兼務

12. 職員の勤務体制予定表 (2024年4月1日)

勤務	時間	労働時間 (休憩時間)
A 勤	8:00 ~ 17:00	8 時間 (1 時間休憩)

B 勤	8 : 30 ~ 17 : 30	8 時間 (1 時間休憩)
C 勤	9 : 00 ~ 15 : 45	6 時間 (45 分休憩)
D 勤	9 : 30 ~ 16 : 15	6 時間 (45 分休憩)

A 型利用者勤務体制予定表

A 勤	9 : 00 ~ 16 : 00	6 時間 (1 時間休憩)
B 勤	10 : 30 ~ 17 : 30	6 時間 (1 時間休憩)

13. 利用延べ人数及び開所予定

① 開所状況 (就労継続支援 A 型・就労継続支援 B 型) (単位：日)

	2024 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	2025 年 1 月	2 月	3 月	合計
開所数	22	22	22	23	21	21	23	22	22	22	20	22	262

② 就労継続支援 A 型実人数 (定員 10 名) (単位：名)

	2024 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	2025 年 1 月	2 月	3 月	合計
述べ数	220	220	220	230	210	210	230	220	220	220	200	220	2,620

③ 就労継続支援 B 型実人数 (定員 10 名) (単位：名)

	2024 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	2025 年 1 月	2 月	3 月	合計
述べ数	220	220	220	230	210	210	230	220	220	220	200	220	2,620

14. 年間行事 (案)

実施月	実施行事
4 月	外出活動 (花見)
5 月	外出活動 (買い物)・避難訓練 (火災)
6 月	外出活動 (水族館)
7 月	七夕会 (茶話会)・避難訓練 (水害)
8 月	外出活動 (食事会)
9 月	調理活動
10 月	外出活動 (ボーリング)・避難訓練 (震災)
11 月	外出活動 (買い物)

12月	クリスマス忘年会（調理活動・茶話会）
1月	外出活動（食事会）・避難訓練（不審者）
2月	外出活動（いちご狩り）
3月	お疲れ様会（茶話会）

15. 資金計画

別紙収支予算書のとおり。

2024 年度 社会福祉法人 めやす箱
コンパス 事業計画書
(就労継続支援 B 型)

1. 基本方針

法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし、就労分野の特性を活かした福祉サービスの提供を行う。利用者のニーズに応じたサービスの提供を行うと共に、個別支援計画の作成から実行まで本人・保護者の要望を反映し、個別支援に取り組む。

2. 施設の概要

施設の名称	コンパス
所在地	岡山県倉敷市茶屋町 1877 番 8
種類	就労継続支援 B 型
定員	就労継続支援 B 型 (20 名)
管理者	藤原 悠生
事業内容	ご利用者一人一人に合った作業や環境を提供しながら、作業スキルの向上と工賃向上が出来るように支援を行う。また、自立が意識出来るよう社会生活面や日常生活面での支援を行う。委託作業だけではなく、自社製品や農耕作業に多くの方が参加し、自主生産による収入について学び、やりがいを持てる様に取り組んでいく。自社製品については、販路拡大ができるよう取り組む。

3. (1) 就労部門事業目標

法人理念及び基本方針を基に、2024 年度部門目標を下記事項に定める。

- ① 「 ニーズに応じたサービスの提供と質の向上 」
- ② 「 働きやすい環境づくり 」
- ③ 「 安定した事業運営 」

①ニーズに応じたサービスの提供と質の向上

法人理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」の実現に向け、満足度調査結果の改善に取り組んでいく。

- ・作業内容や作業工賃に対するニーズが多く上がっている為、取り組みたい作業、工程、目標工賃額等の聞き取り調査を行い、個別支援に反映させていく。また、作業種においても新たな開拓が必要であり、企業との連携、法人独自の取り組み等、工賃向上に向けて準備を進めていく。
- ・行事内容、頻度については一定の満足度向上が得られている。2024 年度以降も就労支援に沿う形で行事内容を充実させ、実施頻度を高めていく。行事内容に関しては、ご利用者からの要望に沿った行事を提供することで、満足度向上に繋げていく。
- ・環境面に関して、外部からの視点を意識し、環境美化の促進を図っていく。また、職員の接遇面も強化を図り、ご利用者、保護者、関係機関が足を運びやすい事業所を目指していく。

②働きやすい環境づくり

法人理念である「職員が働きやすい環境づくり」を推進し、ワークライフバランスを意識した労働環境を構築していく。

- ・現場職員向けに 2022 年度から実施している「業務改善についてのアンケート」を継続的に行い、現場職員からのニーズを反映することで環境改善に取り組んでいく。
- ・管理者と職員が個別面談する機会を拡大し、現状の職責やキャリアビジョン、部門の方向性を綿密にすり合わせ、互いに納得できる労働内容、環境を提供していく。
- ・チーム作りに重要な人間力の向上に重点を置き、法人全体研修に加え、部門勉強会、事業所勉強会にも盛り込み、働く環境、チーム力の向上を図る。
- ・部門勉強会の内容に職員からの要望を盛り込むことで学ぶ意欲を育み、プロ意識の向上、支援力の向上を図る。

③安定した事業運営

4 月より就労継続支援 B 型事業所「みのり」が開所を予定しており、9 事業所で運営スタートとなる。倉敷市の就労系事業所は集客が難しい状況が続いており、現状のニーズに沿った運営体制の構築を目指していく。

- ・事業所の空き状況、作業内容、送迎エリアを記載した部門一覧を作成し、相談支援事業所等に定期的に発信を行うことで、集客の安定化を図っていく。
- ・相談支援事業所や支援学校にニーズ調査を行い、サービスに繋がりにくい要望の把握、受け入れ体制の構築を図っていく。2023 年度のニーズとして多かった短時間利用、半日利用に関しては、急務として受け入れ体制を整えていく。
- ・平均工賃の向上、行事活動の拡大、地域との連携を強化し、事業所個々の特色を見出していく。2024 年度は情報収集から着手まで取り組み、2025 年度スタート時には特色のある事業運営体制を目指していく。
- ・長期的に経営を安定させる為に、企業や地域等、外部との連携強化を図り、就労部門の視野の拡大を図っていく。
- ・継続的にサービスが提供できるよう、人材確保、人材育成に取り組んでいく。特にサービス管理責任者を担える人材の育成は急務であり、経営の視点やサービス管理に関する勉強会を実施し、マネジメント能力の向上を図っていく。

(2) 就労部門年間計画

4 月	経営戦略会議（工賃向上）、部門歓迎会
5 月	保護者交流会（担当：管理者）、部門通信発行、第 1 回部門勉強会
6 月	満足度調査振り返り、業務改善アンケート
7 月	経営戦略会議（工賃向上）、サビ管研修
8 月	
9 月	部門研修（サービス向上）、部門通信発行
10 月	経営戦略会議（工賃向上）、部門親睦会
11 月	第 2 回部門勉強会

12月	
1月	経営戦略会議（工賃向上）、部門通信発行、業務改善振り返りアンケート
2月	研修発表会
3月	

※ 外部研修については、都度選考する。

（3）就労部門事業展開

2024年4月に就労継続支援B型（20名）：みのりが開所予定となっている。2024年度内に経営状況の安定が図れるよう、集客に努めていく。

4. 事業目標（具体的取り組み）

法人理念・部門事業目標を加味した上で2024年度事業目標を下記事項に定める。

①ニーズに応じたサービスの提供と質の向上

個別面談を通してご利用者のニーズを把握し、行事や外出活動に反映させていく。内職作業においては挑戦したい作業工程を、施設外就労については新たに参加したい作業について聞き取りを行い、一人一人のニーズに沿った作業が提供できるよう努めていく。また、ご利用者が取り組むことができる作業の幅を拡げられるよう、新規作業の開拓や自社製品づくりに注力していく。

②働きやすい環境づくり

年に1度実施している、職員へのアンケートや自己申告書にて上がってくる意見や要望を真摯受け止め、早急に解決できるよう努めていく。また、職員面談や聞き取りを定期的を実施し、業務の課題抽出や改善、意見の反映を事業所職員全員で行い、チームワークの向上を図ることで働きやすい環境を整えていく。

③安定した事業運営

相談支援事業所や支援学校と情報交換を行い、地域ニーズの把握に努めていく。短時間の利用を希望される方への対応ができるように体制を整えていく。また、ステップアップを目指し、他事業所への移行を希望される方には、見学や体験をサポートし、ニーズに沿った利用調整ができるように他事業所間で連携を図っていく。

2024年度は、稼働の安定と平均工賃の向上に努め、安定した事業運営を目指す。

5. サービス向上（苦情解決・サービス満足度向上）への取り組み

直接支援の質向上や権利擁護に関する意識の向上は勿論、安全・安心に過ごしていただけるよう、環境整備についても具体的な取り組みを行い、サービスの向上を目指す。

苦情処理体制の整備・拡充を図るとともに、苦情の際は迅速且つ誠意ある対応を行い、利用者の信頼と満足度を損なわぬよう努める。また、法人第三者委員とも連携を図っていく。

サービス向上部会と連携し、全事業所を対象とした満足度調査等を行い、利用者一人一人の意見・要望に応じていく。

6. 研修計画

職員一人一人の能力の向上、組織体としての能力向上を目的とする。

法人研修、部門勉強会、事業所勉強会、個人研修（外部研修）を中心に活動を行う。
また、就労部門として人材育成の観点から専門的知識の向上を図る勉強会にも取り組む。

7. 防災計画

事業所内の防災設備が円滑に機能するよう、自主点検を励行し災害時の被害拡大の防止に努める。
火災・地震・水害が発生した場合、ご利用者に安全確保が迅速に行えるよう、年2回以上の防災訓練を実施する。
法人防災委員会と連携し、緊急時の対応や日々の災害対応への啓蒙活動を行う。
事業所内における利用者の防災意識を高めるべく、啓蒙活動等に取り組む。

8. 車両安全運行計画

事業所送迎サービスを安全且つ安心して運行できるよう、職員一人一人の安全運行意識を向上させ事故を無くす取り組みを行う。
万が一の事故時の対応が迅速にとれるよう、非常時の連絡体制の更なる強化を行う。
法人車両安全運行委員会と連携し、緊急時の対応や日々の安全運行対応への啓蒙活動を行う。

9. 安全衛生計画

事業所における衛生面やハード面の清潔・整備について、職員一人一人が常に意識し、業務マニュアルに組み込んでいく。また、ノロウイルス及びインフルエンザ等の感染症対策、啓発活動に積極的に取り組む。また、より良い環境作りを積極的に行い、職員全体の環境美化に対する意識の向上にも取り組む。衛生面において法人安全衛生委員会との連携を図っていく。

10. 広報計画

事業所のパソコンやその他周辺機器の管理を行い、適切な情報の取り扱いに努める。
また、記憶媒体の取り扱いの徹底も併せて行う。
法人広報誌やホームページを活用し事業所の活動内容を保護者、地域の方々へ伝えていく。

11. 職員配置予定表 (2024年4月1日)

(単位：名)

	管理者	サービス 管理責任者	目標工賃 達成指導員	職業指導員	生活支援員	合計
常勤職員	1 (※)	1	1	2		7
非常勤職員					2	

※管理者はつむぎと兼務

12. 職員の勤務体制予定表 (2024年4月1日)

勤務	時間	労働時間 (休憩時間)
A 勤	8 : 00 ~ 17 : 00	8 時間 (1 時間休憩)
B 勤	8 : 15 ~ 17 : 15	8 時間 (1 時間休憩)

C 勤	8 : 30 ~ 17 : 30	8 時間 (1 時間休憩)
D 勤	9 : 00 ~ 15 : 30	5.5 時間 (30 分休憩)
E 勤	8 : 00 ~ 16 : 00	7 時間 (1 時間休憩)

13. 利用延べ人数及び開所予定

① 開所状況 (就労継続支援 B 型) (単位: 日)

	2024 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	2025 年 1 月	2 月	3 月	合計
開所数	22	22	22	23	21	21	23	22	22	22	20	22	262

② 就労継続支援 B 型実人数 (定員 20 名) (単位: 名)

	2024 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	2025 年 1 月	2 月	3 月	合計
述べ数	440	440	440	460	420	420	460	440	440	440	400	440	5,240

14. 年間行事 (案)

実施月	実 施 行 事
4 月	花見外出
5 月	避難訓練 (火災)
6 月	グループ別外出
7 月	避難訓練 (水害)
8 月	夏祭り
9 月	グループ別外出
10 月	ハロウィン会、避難訓練 (震災)
11 月	グループ別外出
12 月	クリスマス会
1 月	初詣、避難訓練 (不審者)
2 月	グループ別外出
3 月	茶話会

15. 資金計画

別紙収支予算書のとおり。

2024 年度 社会福祉法人 めやす箱
就労センターかなで 事業計画書
(就労継続支援 B 型)

1. 基本方針

法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし、就労分野の特性を活かした福祉サービスの提供を行う。利用者のニーズに応じたサービスの提供を行うと共に、個別支援計画の作成から実行まで本人・保護者の要望を反映し、個別支援に取り組む。

2. 施設の概要

施設の名称	就労センターかなで
所在地	岡山県倉敷羽島 563-1
種類	就労継続支援 B 型
定員	就労継続支援 B 型 (20 名)
管理者	戸井 啓介
事業内容	事業所内作業、施設外作業を通じて様々な作業経験を積んでいただき、作業スキルや工賃向上が図れるよう支援を行う。受託作業先の先方や施設外作業先で会う方々とのやり取りを通して接遇面が向上するよう努めていく。また、個別訓練や調理活動、買い物支援、就職活動等を継続させ事業所の特色として活かしていく。

3. (1) 就労部門事業目標

法人理念及び基本方針を基に、2024 年度部門目標を下記事項に定める。

- ① 「 ニーズに応じたサービスの提供と質の向上 」
- ② 「 働きやすい環境づくり 」
- ③ 「 安定した事業運営 」

①ニーズに応じたサービスの提供と質の向上

法人理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」の実現に向け、満足度調査結果の改善に取り組んでいく。

- ・作業内容や作業工賃に対するニーズが多く上がっている為、取り組みたい作業、工程、目標工賃額等の聞き取り調査を行い、個別支援に反映させていく。また、作業種においても新たな開拓が必要であり、企業との連携、法人独自の取り組み等、工賃向上に向けて準備を進めていく。
- ・行事内容、頻度については一定の満足度向上が得られている。2024 年度以降も就労支援に沿う形で行事内容を充実させ、実施頻度を高めていく。行事内容に関しては、ご利用者からの要望に沿った行事を提供することで、満足度向上に繋げていく。
- ・環境面に関して、外部からの視点を意識し、環境美化の促進を図っていく。また、職員の接遇面も強化を図り、ご利用者、保護者、関係機関が足を運びやすい事業所を目指していく。

②働きやすい環境づくり

法人理念である「職員が働きやすい環境づくり」を推進し、ワークライフバランスを意識した労働環境を構築していく。

- ・現場職員向けに2022年度から実施している「業務改善についてのアンケート」を継続的に行い、現場職員からのニーズを反映することで環境改善に取り組んでいく。
- ・管理者と職員が個別面談する機会を拡大し、現状の職責やキャリアビジョン、部門の方向性を綿密にすり合わせ、互いに納得できる労働内容、環境を提供していく。
- ・チーム作りに重要な人間力の向上に重点を置き、法人全体研修に加え、部門勉強会、事業所勉強会にも盛り込み、働く環境、チーム力の向上を図る。
- ・部門勉強会の内容に職員からの要望を盛り込むことで学ぶ意欲を育み、プロ意識の向上、支援力の向上を図る。

③安定した事業運営

4月より就労継続支援B型事業所「みのり」が開所を予定しており、9事業所で運営スタートとなる。倉敷市の就労系事業所は集客が難しい状況が続いており、現状のニーズに沿った運営体制の構築を目指していく。

- ・事業所の空き状況、作業内容、送迎エリアを記載した部門一覧を作成し、相談支援事業所等に定期的に発信を行うことで、集客の安定化を図っていく。
- ・相談支援事業所や支援学校にニーズ調査を行い、サービスに繋がりにくい要望の把握、受け入れ体制の構築を図っていく。2023年度のニーズとして多かった短時間利用、半日利用に関しては、急務として受け入れ体制を整えていく。
- ・平均工賃の向上、行事活動の拡大、地域との連携を強化し、事業所個々の特色を見出していく。2024年度は情報収集から着手まで取り組み、2025年度スタート時には特色のある事業運営体制を目指していく。
- ・長期的に経営を安定させる為に、企業や地域等、外部との連携強化を図り、就労部門の視野の拡大を図っていく。
- ・継続的にサービスが提供できるよう、人材確保、人材育成に取り組んでいく。特にサービス管理責任者を担える人材の育成は急務であり、経営の視点やサービス管理に関する勉強会を実施し、マネジメント能力の向上を図っていく。

(2) 就労部門年間計画

4月	経営戦略会議（工賃向上）、部門歓迎会
5月	保護者交流会（担当：管理者）、部門通信発行、第1回部門勉強会
6月	満足度調査振り返り、業務改善アンケート
7月	経営戦略会議（工賃向上）、サビ管研修
8月	
9月	部門研修（サービス向上）、部門通信発行
10月	経営戦略会議（工賃向上）、部門親睦会
11月	第2回部門勉強会
12月	

1月	経営戦略会議（工賃向上）、部門通信発行、業務改善振り返りアンケート
2月	研修発表会
3月	

※ 外部研修については、都度選考する。

（3）就労部門事業展開

2024年4月に就労継続支援B型（20名）：みのりが開所予定となっている。2024年度内に経営状況の安定が図れるよう、集客に努めていく。

4. 事業目標（具体的取り組み）

法人理念・部門事業目標を加味した上で2024年度事業目標を下記事項に定める。

①ニーズに応じたサービスの提供と質の向上

前年度同様、就労移行支援事業や自立訓練事業のサービス内容を就職班、生活訓練班として設定し、作業だけでなく就職や自立のための訓練に力を注いだ特色を持つ事業所として、多様なニーズに応えられる環境づくりを行っていく。また既存の作業に加え、地域性を活かした施設内外の作業を取り入れ、ご利用者のスキルアップ、ステップアップに繋げていく。作業、個別訓練だけでなくご利用者が楽しむことの出来る行事の継続、増加を行い様々なニーズに応えていく。

②働きやすい環境づくり

年に1度、実施している職員へのアンケートや自己申告書にて上がってくる意見や要望を真摯受け止め、早急に解決できるよう努めていく。また、職員面談や聞き取りを定期的実施し、業務の課題抽出や改善、意見の反映を事業所職員全員で行い、チームワークの向上を図ることで働きやすい環境を整えていく。

③安定した事業運営

2023年12月より移転しており、営業エリアが変更となっている。これまで関わりの薄かったエリアであるため、地域の相談支援事業所を中心に関係機関と繋がりを持ち、集客の安定に努めていく。また、事業所の特色を活かすことや様々なケース、障害種別、短時間や半日利用等の多様なニーズに応えられるよう環境を整え、選ばれる事業所づくりを行っていく。工賃向上をはじめ、ご利用者の満足度が向上する取り組みについても強化し、安定した事業運営を図っていく。

5. サービス向上（苦情解決・サービス満足度向上）への取り組み

直接支援の質向上や権利擁護に関する意識の向上は勿論、安全・安心に過ごしていただけるよう、環境整備についても具体的な取り組みを行い、サービスの向上を目指す。

苦情処理体制の整備・拡充を図るとともに、苦情の際は迅速且つ誠意ある対応を行い、利用者の信頼と満足度を損なわぬよう努める。また、法人第三者委員とも連携を図っていく。

サービス向上部会と連携し、全事業所を対象とした満足度調査等を行い、利用者一人一人の意見・要望に応えていく。

6. 研修計画

職員一人一人の能力の向上、組織体としての能力向上を目的とする。

法人研修、部門勉強会、事業所勉強会、個人研修（外部研修）を中心に活動を行う。

また、就労部門として人材育成の観点から専門的知識の向上を図る勉強会にも取り組む。

7. 防災計画

事業所内の防災設備が円滑に機能するよう、自主点検を励行し災害時の被害拡大の防止に努める。
火災・地震・水害が発生した場合、ご利用者に安全確保が迅速に行えるよう、年2回以上の防災訓練を実施する。

法人防災委員会と連携し、緊急時の対応や日々の災害対応への啓蒙活動を行う。

事業所内における利用者の防災意識を高めるべく、啓蒙活動等に取り組む。

8. 車両安全運行計画

事業所送迎サービスを安全且つ安心して運行できるよう、職員一人一人の安全運行意識を向上させ事故を無くす取り組みを行う。

万が一の事故時の対応が迅速にとれるよう、非常時の連絡体制の更なる強化を行う。

法人車両安全運行委員会と連携し、緊急時の対応や日々の安全運行対応への啓蒙活動を行う。

9. 安全衛生計画

事業所における衛生面やハード面の清潔・整備について、職員一人一人が常に意識し、業務マニュアルに組み込んでいく。また、ノロウイルス及びインフルエンザ等の感染症対策、啓発活動に積極的に取り組む。また、より良い環境作りを積極的に行い、職員全体の環境美化に対する意識の向上にも取り組む。衛生面において法人安全衛生委員会との連携を図っていく。

10. 広報計画

事業所のパソコンやその他周辺機器の管理を行い、適切な情報の取り扱いに努める。

また、記憶媒体の取り扱いの徹底も併せて行う。

法人広報誌やホームページを活用し事業所の活動内容を保護者、地域の方々へ伝えていく。

11. 職員配置予定表 (2024年4月1日)

(単位：名)

	管理者	サービス 管理責任者	目標工賃 達成指導員	職業指導員	生活支援員	合計
常勤職員	1(※)	1(※)	1		2	8
非常勤職員				1	3	

※管理者はサビ管と兼務

12. 職員の勤務体制予定表 (2024年4月1日)

勤務	時間	労働時間 (休憩時間)
A 勤	8:30 ~ 17:30	8 時間 (1 時間休憩)
B 勤	8:00 ~ 17:00	8 時間 (1 時間休憩)

C 勤	9 : 00 ~ 15 : 30	5.5 時間 (30 分休憩)
-----	------------------	-----------------

13. 利用延べ人数及び開所予定

① 開所状況 (就労継続支援 B 型) (単位: 日)

	2024 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	2025 年 1 月	2 月	3 月	合計
開所数	22	22	22	23	21	21	23	22	22	22	20	22	262

② 就労継続支援 B 型実人数 (定員 20 名) (単位: 名)

	2024 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	2025 年 1 月	2 月	3 月	合計
述べ数	440	440	440	460	420	420	460	440	440	440	400	440	5,240

14. 年間行事 (案)

実施月	実施行事
4 月	親睦会 (花見)
5 月	避難訓練 (火災)
6 月	バス旅行
7 月	避難訓練 (水害)
8 月	納涼会・カラオケ
9 月	調理活動
10 月	避難訓練 (震災)
11 月	グループ別外出
12 月	忘年会
1 月	初詣・避難訓練 (不審者)
2 月	グループ別外出活動
3 月	お疲れ様会 (茶話会)

15. 資金計画

別紙収支予算書のとおり。

2024 年度 社会福祉法人 めやす箱
就労支援 はれる 事業計画書
(就労継続支援 B 型)

1. 基本方針

法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし、就労分野の特性を活かした福祉サービスの提供を行う。利用者のニーズに応じたサービスの提供を行うと共に、個別支援計画の作成から実行まで本人・保護者の要望を反映し、個別支援に取り組む。

2. 施設の概要

施設の名称	就労支援 はれる
所在地	岡山県倉敷市早高 568-1
種類	就労継続支援 B 型
定員	就労継続支援 B 型 (20 名)
管理者	物部 純子
事業内容	様々な委託作業を通し、やりがいや達成感を感じながら作業スキルの向上と工賃向上が出来るように支援を行う。作業面だけでなく、自立面も一人一人が意識出来るよう、社会生活面や日常生活面での支援を行う。農耕作業や施設外作業に多くの方が参加し、外部の方との交流や経験を経て社会性の向上やスキルアップ、ステップアップ出来るよう就労支援を行う。

3. (1) 就労部門事業目標

法人理念及び基本方針を基に、2024 年度部門目標を下記事項に定める。

- ① 「 ニーズに応じたサービスの提供と質の向上 」
- ② 「 働きやすい環境づくり 」
- ③ 「 安定した事業運営 」

①ニーズに応じたサービスの提供と質の向上

法人理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」の実現に向け、満足度調査結果の改善に取り組んでいく。

- ・作業内容や作業工賃に対するニーズが多く上がっている為、取り組みたい作業、工程、目標工賃額等の聞き取り調査を行い、個別支援に反映させていく。また、作業種においても新たな開拓が必要であり、企業との連携、法人独自の取り組み等、工賃向上に向けて準備を進めていく。
- ・行事内容、頻度については一定の満足度向上が得られている。2024 年度以降も就労支援に沿う形で行事内容を充実させ、実施頻度を高めていく。行事内容に関しては、ご利用者からの要望に沿った行事を提供することで、満足度向上に繋げていく。
- ・環境面に関して、外部からの視点を意識し、環境美化の促進を図っていく。また、職員の接遇面も強化を図り、ご利用者、保護者、関係機関が足を運びやすい事業所を目指していく。

②働きやすい環境づくり

法人理念である「職員が働きやすい環境づくり」を推進し、ワークライフバランスを意識した労働環境を構築していく。

- ・現場職員向けに 2022 年度から実施している「業務改善についてのアンケート」を継続的に行い、現場職員からのニーズを反映することで環境改善に取り組んでいく。
- ・管理者と職員が個別面談する機会を拡大し、現状の職責やキャリアビジョン、部門の方向性を綿密にすり合わせ、互いに納得できる労働内容、環境を提供していく。
- ・チーム作りに重要な人間力の向上に重点を置き、法人全体研修に加え、部門勉強会、事業所勉強会にも盛り込み、働く環境、チーム力の向上を図る。
- ・部門勉強会の内容に職員からの要望を盛り込むことで学ぶ意欲を育み、プロ意識の向上、支援力の向上を図る。

③安定した事業運営

4 月より就労継続支援 B 型事業所「みのり」が開所を予定しており、9 事業所で運営スタートとなる。倉敷市の就労系事業所は集客が難しい状況が続いており、現状のニーズに沿った運営体制の構築を目指していく。

- ・事業所の空き状況、作業内容、送迎エリアを記載した部門一覧を作成し、相談支援事業所等に定期的に発信を行うことで、集客の安定化を図っていく。
- ・相談支援事業所や支援学校にニーズ調査を行い、サービスに繋がりにくい要望の把握、受け入れ体制の構築を図っていく。2023 年度のニーズとして多かった短時間利用、半日利用に関しては、急務として受け入れ体制を整えていく。
- ・平均工賃の向上、行事活動の拡大、地域との連携を強化し、事業所個々の特色を見出していく。2024 年度は情報収集から着手まで取り組み、2025 年度スタート時には特色のある事業運営体制を目指していく。
- ・長期的に経営を安定させる為に、企業や地域等、外部との連携強化を図り、就労部門の視野の拡大を図っていく。
- ・継続的にサービスが提供できるよう、人材確保、人材育成に取り組んでいく。特にサービス管理責任者を担える人材の育成は急務であり、経営の視点やサービス管理に関する勉強会を実施し、マネジメント能力の向上を図っていく。

(2) 就労部門研修計画 (研修会・交流会)

4 月	経営戦略会議 (工賃向上)、部門歓迎会
5 月	保護者交流会 (担当: 管理者)、部門通信発行、第 1 回部門勉強会
6 月	満足度調査振り返り、業務改善アンケート
7 月	経営戦略会議 (工賃向上)、サビ管研修
8 月	
9 月	部門研修 (サービス向上)、部門通信発行
10 月	経営戦略会議 (工賃向上)、部門親睦会
11 月	第 2 回部門勉強会

12月	
1月	経営戦略会議（工賃向上）、部門通信発行、業務改善振り返りアンケート
2月	研修発表会
3月	

※ 外部研修については、都度選考する。

（3）就労部門事業展開

2024年4月に就労継続支援B型（20名）：みのりが開所予定となっている。2024年度内に経営状況の安定が図れるよう、集客に努めていく。

4. 事業目標（具体的取り組み）

法人理念・部門事業目標を加味した上で2024年度事業目標を下記事項に定める。

① ニーズに応じたサービスの提供

現在利用されている方々のニーズにおいては、サービス満足度調査に挙がる意見要望を真摯に受け止め、サービスの質の向上や利用者満足度の向上を図る。満足度調査実施結果から、部門での課題「作業内容」「工賃向上」が挙げられている。「作業内容」に関しては、取り組みたい作業、工程の細分化を行い、スキル向上に繋げ、継続して作業が行えるよう配慮をしていくことで、利用者が主体的に取り組める作業の確保を行っていく。就労意欲の向上を図り、一般就労やA型事業所等へのステップアップに繋がるよう、就労支援を行っていく。

「工賃向上」に関しては、受注量の減少により、内職作業だけでは伸びが少ないため、施設外就労や高工賃が得られる作業に切り替える等、具体的な対策を講じていく。また、自社製品の開発に向けた準備を進め、工賃向上へと繋げていく。2025年度には事業所の売りとなる自社製品を地域に向けて発信し、地域とのつながりを強化する中で、新規利用者の確保に繋げていく。

② 働きやすい環境づくり

ワークライフバランスを意識した労働環境を構築していくために、業務改善アンケートを実施し、現場職員の意見を吸い上げ、環境を整えていく。業務改善や支援力については、法人勉強会、部門勉強会、事業所勉強会等を通して、プロ意識の向上とチーム力の向上を目指す。定期的な職員面談を通して克服すべき項目や更にスキルアップを図るべき項目を具体的に示し、育成へと繋げていく。チームアプローチを意識し、全体で支え合い、育成し合う環境設定を構築し、より強固な組織体制への成長を目指す。

③ 安定した事業運営

2023年度は90%の稼働率が確保できておらず、多様化するニーズに対して、個別に対応できないことが原因と考えられる。短時間や半日を希望されている方や、受診後に迎えに来てほしい等の送迎に関する課題が見られる。次年度は職員数を増やし、個別対応を積極的に行い、新規利用者の確保や現利用者の出勤日数増加に繋げていく。また、障がい特性に応じた対応の困難さから、利用が継続しなかったケースも見られている。様々な障がい特性に応じた対応ができるよう、勉強会を通して知識を深め、環境や支援ツール等の整備を行い、双方が安心して過ごせる環境を整えていく。また、管理層やサビ管層の営業強化を行い、稼働率の安定が図れるよう、相談事業所や支援学校との連携強化を

図り、新規利用者確保を目指す。

5. サービス向上（苦情解決・サービス満足度向上）への取り組み

直接支援の質向上や権利擁護に関する意識の向上は勿論、安全・安心に過ごしていただけるよう、環境整備についても具体的な取り組みを行い、サービスの向上を目指す。

苦情処理体制の整備・拡充を図るとともに、苦情の際は迅速且つ誠意ある対応を行い、利用者の信頼と満足を損なわぬよう努める。また、法人第三者委員とも連携を図っていく。

サービス向上部会と連携し、全事業所を対象とした満足度調査等を行い、利用者一人一人の意見・要望に応じていく。

6. 研修計画

職員一人一人の能力の向上、組織体としての能力向上を目的とする。

法人研修、部門勉強会、事業所勉強会、個人研修（外部研修）を中心に活動を行う。

また、就労部門として人材育成の観点から専門的知識の向上を図る勉強会にも取り組む。

7. 防災計画

事業所内の防災設備が円滑に機能するよう、自主点検を励行し災害時の被害拡大の防止に努める。火災・地震・水害が発生した場合、ご利用者に安全確保が迅速に行えるよう、年2回以上の防災訓練を実施する。

法人防災委員会と連携し、緊急時の対応や日々の災害対応への啓蒙活動を行う。

事業所内における利用者の防災意識を高めるべく、啓蒙活動等に取り組む。

8. 車両安全運行計画

事業所送迎サービスを安全且つ安心して運行できるよう、職員一人一人の安全運行意識を向上させ事故を無くす取り組みを行う。

万が一の事故時の対応が迅速にとれるよう、非常時の連絡体制の更なる強化を行う。

法人車両安全運行委員会と連携し、緊急時の対応や日々の安全運行対応への啓蒙活動を行う。

9. 安全衛生計画

事業所における衛生面やハード面の清潔・整備について、職員一人一人が常に意識し、業務マニュアルに組み込んでいく。また、ノロウイルス及びインフルエンザ等の感染症対策、啓発活動に積極的に取り組む。また、より良い環境作りを積極的に行い、職員全体の環境美化に対する意識の向上にも取り組む。衛生面において法人安全衛生委員会との連携を図っていく。

10. 広報計画

事業所のパソコンやその他周辺機器の管理を行い、適切な情報の取り扱いに努める。

また、記憶媒体の取り扱いの徹底も併せて行う。

法人広報誌やホームページを活用し事業所の活動内容を保護者、地域の方々へ伝えていく。

11. 職員配置予定表（2024年4月1日）

（単位：名）

	管理者	サービス 管理責任者	目標工賃 達成指導員	職業指導員	生活支援員	合計
常勤職員	1 (※)	1 (※)	1	1		5
非常勤職員					2	

※管理者はサービス管理責任者と兼務

12. 職員の勤務体制予定表 (2024年4月1日)

勤務	時間	労働時間 (休憩時間)
A 勤	8 : 00 ~ 17 : 00	8 時間 (1 時間休憩)
B 勤	7 : 45 ~ 16 : 45	8 時間 (1 時間休憩)
C 勤	8 : 30 ~ 16 : 30	7 時間 (1 時間休憩)

13. 利用延べ人数及び開所予定

① 開所状況 (就労継続支援 B 型)

(単位：日)

	2024 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	2025 年 1 月	2 月	3 月	合計
開所数	22	22	22	23	21	21	23	22	22	22	20	22	262

② 就労継続支援 B 型実人数 (定員 20 名)

(単位：名)

	2024 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	2025 年 1 月	2 月	3 月	合計
述べ数	440	440	440	460	420	420	460	440	440	440	400	440	5240

14. 年間行事 (案)

実施月	実施行事
4 月	誕生日会・花見
5 月	誕生日会・外出活動 (散策)・避難訓練 (火災)
6 月	誕生日会・外出活動 (ボーリング)
7 月	誕生日会・七夕会 (茶話会)・避難訓練 (水害)
8 月	誕生日会・夏祭り
9 月	誕生日会・室内運動会
10 月	誕生日会・外出活動 (外食)・避難訓練 (震災)
11 月	誕生日会・音楽鑑賞会
12 月	誕生日会・クッキング
1 月	誕生日会・外出活動 (初詣)・避難訓練 (不審者)
2 月	誕生日会・外出活動 (いちご狩り)

3月	誕生日会・お疲れ様会（茶話会）
----	-----------------

15. 資金計画

別紙収支予算書のとおり。

2024年度 社会福祉法人 めやす箱
つむぎ 事業計画書
(就労継続支援B型)

1. 基本方針

法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし、就労分野の特性を活かした福祉サービスの提供を行う。利用者のニーズに応じたサービスの提供を行うと共に、個別支援計画の作成から実行まで本人・保護者の要望を反映し、個別支援に取り組む。

2. 施設の概要

施設の名称	つむぎ
所在地	岡山県倉敷市福田町古新田 258-28
種類	就労継続支援B型
定員	就労継続支援B型 (20名)
管理者	藤原 悠生
事業内容	事業所内作業、施設外作業を通じて作業機会を提供し、就労能力と工賃向上が図れるよう支援を行う。個別支援においては、個々の能力とニーズを把握し、作業能力や社会性の向上、一般就労に向けたアプローチを行い、利用者の目指す方向性に合わせたサービス提供を行う。

3. (1) 就労部門事業目標

法人理念及び基本方針を基に、2024年度部門目標を下記事項に定める。

- ① 「 ニーズに応じたサービスの提供と質の向上 」
- ② 「 働きやすい環境づくり 」
- ③ 「 安定した事業運営 」

①ニーズに応じたサービスの提供と質の向上

法人理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」の実現に向け、満足度調査結果の改善に取り組んでいく。

- ・作業内容や作業工賃に対するニーズが多く上がっている為、取り組みたい作業、工程、目標工賃額等の聞き取り調査を行い、個別支援に反映させていく。また、作業種においても新たな開拓が必要であり、企業との連携、法人独自の取り組み等、工賃向上に向けて準備を進めていく。
- ・行事内容、頻度については一定の満足度向上が得られている。2024年度以降も就労支援に沿う形で行事内容を充実させ、実施頻度を高めていく。行事内容に関しては、ご利用者からの要望に沿った行事を提供することで、満足度向上に繋げていく。
- ・環境面に関して、外部からの視点を意識し、環境美化の促進を図っていく。また、職員の接遇面も強化を図り、ご利用者、保護者、関係機関が足を運びやすい事業所を目指していく。

②働きやすい環境づくり

法人理念である「職員が働きやすい環境づくり」を推進し、ワークライフバランスを意識した労働環境を構築していく。

- ・現場職員向けに 2022 年度から実施している「業務改善についてのアンケート」を継続的に行い、現場職員からのニーズを反映することで環境改善に取り組んでいく。
- ・管理者と職員が個別面談する機会を拡大し、現状の職責やキャリアビジョン、部門の方向性を綿密にすり合わせ、互いに納得できる労働内容、環境を提供していく。
- ・チーム作りに重要な人間力の向上に重点を置き、法人全体研修に加え、部門勉強会、事業所勉強会にも盛り込み、働く環境、チーム力の向上を図る。
- ・部門勉強会の内容に職員からの要望を盛り込むことで学ぶ意欲を育み、プロ意識の向上、支援力の向上を図る。

③安定した事業運営

4月より就労継続支援B型事業所「みのり」が開所を予定しており、9事業所で運営スタートとなる。倉敷市の就労系事業所は集客が難しい状況が続いており、現状のニーズに沿った運営体制の構築を目指していく。

- ・事業所の空き状況、作業内容、送迎エリアを記載した部門一覧を作成し、相談支援事業所等に定期的に発信を行うことで、集客の安定化を図っていく。
- ・相談支援事業所や支援学校にニーズ調査を行い、サービスに繋がりにくい要望の把握、受け入れ体制の構築を図っていく。2023年度のニーズとして多かった短時間利用、半日利用に関しては、急務として受け入れ体制を整えていく。
- ・平均工賃の向上、行事活動の拡大、地域との連携を強化し、事業所個々の特色を見出していく。2024年度は情報収集から着手まで取り組み、2025年度スタート時には特色のある事業運営体制を目指していく。
- ・長期的に経営を安定させる為に、企業や地域等、外部との連携強化を図り、就労部門の視野の拡大を図っていく。
- ・継続的にサービスが提供できるよう、人材確保、人材育成に取り組んでいく。特にサービス管理責任者を担える人材の育成は急務であり、経営の視点やサービス管理に関する勉強会を実施し、マネジメント能力の向上を図っていく。

(2) 就労部門年間計画

4月	経営戦略会議（工賃向上）、部門歓迎会
5月	保護者交流会（担当：管理者）、部門通信発行、第1回部門勉強会
6月	満足度調査振り返り、業務改善アンケート
7月	経営戦略会議（工賃向上）、サビ管研修
8月	
9月	部門研修（サービス向上）、部門通信発行
10月	経営戦略会議（工賃向上）、部門親睦会
11月	第2回部門勉強会
12月	

1月	経営戦略会議（工賃向上）、部門通信発行、業務改善振り返りアンケート
2月	研修発表会
3月	

※ 外部研修については、都度選考する。

（3）就労部門事業展開

2024年4月に就労継続支援B型（20名）：みのりが開所予定となっている。2024年度内に経営状況の安定が図れるよう、集客に努めていく。

4. 事業目標（具体的取り組み）

法人理念・部門事業目標を加味した上で2024年度事業目標を下記事項に定める。

①ニーズに応じたサービスの提供と質の向上

2023年度のサービス満足度調査で、「作業内容について満足していますか?」「作業工賃について満足していますか?」の質問項目で「はい」とご返答いただいたのが、どちらも3~4割という結果になった。2024年度は新規作業の開拓と工賃向上に注力し、満足度向上を図っていく。余暇支援では、ご利用者のニーズを聞き取り、行事内容や外出活動に反映させていく。また、ご利用者の障がい特性や相性を考慮し、安心・安全に作業ができる環境を整えていく。

②働きやすい環境づくり

年に1度実施している、職員へのアンケートや自己申告書にて上がってくる意見や要望を真摯受け止め、早急に解決できるよう努めていく。また、職員面談や聞き取りを定期的に行い、業務の課題抽出や改善、意見の反映を事業所職員全員で行い、チームワークの向上を図ることで働きやすい環境を整えていく。

③安定した事業運営

相談支援事業所や支援学校と情報共有をして、新規利用者の受け入れを行っていく。また、半日利用や短時間利用に対応できる体制を整えて、地域のニーズに沿ったサービス提供ができるよう努めていく。

2024年度は新卒採用の職員が入職するため、社会人としてのマナーや障がい福祉についての基礎的な知識を身に付けさせ、サービスの質の向上を図っていく。

5. サービス向上（苦情解決・サービス満足度向上）への取り組み

直接支援の質向上や権利擁護に関する意識の向上は勿論、安全・安心に過ごしていただけるよう、環境整備についても具体的な取り組みを行い、サービスの向上を目指す。

苦情処理体制の整備・拡充を図るとともに、苦情の際は迅速且つ誠意ある対応を行い、利用者の信頼と満足を損なわぬよう努める。また、法人第三者委員とも連携を図っていく。

サービス向上部会と連携し、全事業所を対象とした満足度調査等を行い、利用者一人一人の意見・要望に応じていく。

6. 研修計画

職員一人一人の能力の向上、組織体としての能力向上を目的とする。

法人研修、部門勉強会、事業所勉強会、個人研修（外部研修）を中心に活動を行う。
また、就労部門として人材育成の観点から専門的知識の向上を図る勉強会にも取り組む。

7. 防災計画

事業所内の防災設備が円滑に機能するよう、自主点検を励行し災害時の被害拡大の防止に努める。
火災・地震・水害が発生した場合、ご利用者に安全確保が迅速に行えるよう、年2回以上の防災訓練を実施する。

法人防災委員会と連携し、緊急時の対応や日々の災害対応への啓蒙活動を行う。

事業所内における利用者の防災意識を高めるべく、啓蒙活動等に取り組む。

8. 車両安全運行計画

事業所送迎サービスを安全且つ安心して運行できるよう、職員一人一人の安全運行意識を向上させ事故を無くす取り組みを行う。

万が一の事故時の対応が迅速にとれるよう、非常時の連絡体制の更なる強化を行う。

法人車両安全運行委員会と連携し、緊急時の対応や日々の安全運行対応への啓蒙活動を行う。

9. 安全衛生計画

事業所における衛生面やハード面の清潔・整備について、職員一人一人が常に意識し、業務マニュアルに組み込んでいく。また、ノロウイルス及びインフルエンザ等の感染症対策、啓発活動に積極的に取り組む。また、より良い環境作りを積極的に行い、職員全体の環境美化に対する意識の向上にも取り組む。衛生面において法人安全衛生委員会との連携を図っていく。

10. 広報計画

事業所のパソコンやその他周辺機器の管理を行い、適切な情報の取り扱いに努める。

また、記憶媒体の取り扱いの徹底も併せて行う。

法人広報誌やホームページを活用し事業所の活動内容を保護者、地域の方々へ伝えていく。

11. 職員配置予定表 (2024年4月1日)

(単位：名)

	管理者	サービス 管理責任者	目標工賃 達成指導員	職業指導員	生活支援員	合計
常勤職員	1 (※)	1	1	1	1	8
非常勤職員					3	

※管理者はコンパスと兼務

12. 職員の勤務体制予定表 (2024年4月1日)

勤務	時間	労働時間 (休憩時間)
A 勤	7:45 ~ 16:45	8 時間 (1 時間休憩)
B 勤	8:00 ~ 17:00	8 時間 (1 時間休憩)

C 勤	9 : 45 ~ 15 : 30	5.5 時間 (15 分休憩)
-----	------------------	-----------------

13. 利用延べ人数及び開所予定

① 開所状況 (就労継続支援 B 型) (単位 : 日)

	2024 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	2025 年 1 月	2 月	3 月	合計
開所数	22	22	22	23	21	21	23	22	22	22	20	22	262

② 就労継続支援 B 型実人数 (定員 20 名) (単位 : 名)

	2024 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	2025 年 1 月	2 月	3 月	合計
述べ数	440	440	440	460	420	420	460	440	440	440	400	440	5,240

14. 年間行事 (案)

実施月	実 施 行 事
4 月	花見
5 月	避難訓練 (火災)
6 月	グループ別外出
7 月	避難訓練 (水害)
8 月	夏祭り
9 月	グループ別外出
10 月	避難訓練 (震災)
11 月	グループ別外出
12 月	クリスマス会
1 月	初詣、避難訓練 (不審者)
2 月	茶話会
3 月	

15. 資金計画

別紙収支予算書のとおり。

2024年度 社会福祉法人 めやす箱
みのり 事業計画書（案）
（就労継続支援B型）

1. 基本方針

法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし、就労分野の特性を活かした福祉サービスの提供を行う。利用者のニーズに応じたサービスの提供を行うと共に、個別支援計画の作成から実行まで本人・保護者の要望を反映し、個別支援に取り組む。

2. 施設の概要

施設の名称	みのり
所在地	岡山県倉敷市西阿知町西原 757-1
種類	就労継続支援B型
定員	就労継続支援B型（20名）
管理者	小谷 卓也
事業内容	事業所内作業を通じて、様々な経験を積んでいただきながら、作業能力と工賃向上を図れるよう支援を行う。弃当事業の特色を生かし、生活面の向上や外部の方との関わりの中で社会性の向上を図り、一般就労へのアプローチも行っていく。個々のニーズと能力を把握し、強みを生かした支援を行い、利用者の目指す方向性に合わせたサービス提供を行っていく。

3. (1) 就労部門事業目標

法人理念及び基本方針を基に、2024年度部門目標を下記事項に定める。

- ① 「 ニーズに応じたサービスの提供と質の向上 」
- ② 「 働きやすい環境づくり 」
- ③ 「 安定した事業運営 」

①ニーズに応じたサービスの提供と質の向上

法人理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」の実現に向け、満足度調査結果の改善に取り組んでいく。

- ・作業内容や作業工賃に対するニーズが多く上がっている為、取り組みたい作業、工程、目標工賃額等の聞き取り調査を行い、個別支援に反映させていく。また、作業種においても新たな開拓が必要であり、企業との連携、法人独自の取り組み等、工賃向上に向けて準備を進めていく。
- ・行事内容、頻度については一定の満足度向上が得られている。2024年度以降も就労支援に沿う形で行事内容を充実させ、実施頻度を高めていく。行事内容に関しては、ご利用者からの要望に沿った行事を提供することで、満足度向上に繋げていく。
- ・環境面に関して、外部からの視点を意識し、環境美化の促進を図っていく。また、職員の接遇面も強化を図り、ご利用者、保護者、関係機関が足を運びやすい事業所を目指していく。

②働きやすい環境づくり

法人理念である「職員が働きやすい環境づくり」を推進し、ワークライフバランスを意識した労働環境を構築していく。

- ・現場職員向けに 2022 年度から実施している「業務改善についてのアンケート」を継続的に行い、現場職員からのニーズを反映することで環境改善に取り組んでいく。
- ・管理者と職員が個別面談する機会を拡大し、現状の職責やキャリアビジョン、部門の方向性を綿密にすり合わせ、互いに納得できる労働内容、環境を提供していく。
- ・チーム作りに重要な人間力の向上に重点を置き、法人全体研修に加え、部門勉強会、事業所勉強会にも盛り込み、働く環境、チーム力の向上を図る。
- ・部門勉強会の内容に職員からの要望を盛り込むことで学ぶ意欲を育み、プロ意識の向上、支援力の向上を図る。

③安定した事業運営

4 月より就労継続支援 B 型事業所「みのり」が開所を予定しており、9 事業所で運営スタートとなる。倉敷市の就労系事業所は集客が難しい状況が続いており、現状のニーズに沿った運営体制の構築を目指していく。

- ・事業所の空き状況、作業内容、送迎エリアを記載した部門一覧を作成し、相談支援事業所等に定期的に発信を行うことで、集客の安定化を図っていく。
- ・相談支援事業所や支援学校にニーズ調査を行い、サービスに繋がりにくい要望の把握、受け入れ体制の構築を図っていく。2023 年度のニーズとして多かった短時間利用、半日利用に関しては、急務として受け入れ体制を整えていく。
- ・平均工賃の向上、行事活動の拡大、地域との連携を強化し、事業所個々の特色を見出していく。2024 年度は情報収集から着手まで取り組み、2025 年度スタート時には特色のある事業運営体制を目指していく。
- ・長期的に経営を安定させる為に、企業や地域等、外部との連携強化を図り、就労部門の視野の拡大を図っていく。
- ・継続的にサービスが提供できるよう、人材確保、人材育成に取り組んでいく。特にサービス管理責任者を担える人材の育成は急務であり、経営の視点やサービス管理に関する勉強会を実施し、マネジメント能力の向上を図っていく。

(2) 就労部門年間計画

4 月	経営戦略会議（工賃向上）、部門歓迎会
5 月	保護者交流会（担当：管理者）、部門通信発行、第 1 回部門勉強会
6 月	満足度調査振り返り、業務改善アンケート
7 月	経営戦略会議（工賃向上）、サビ管研修
8 月	
9 月	部門研修（サービス向上）、部門通信発行
10 月	経営戦略会議（工賃向上）、部門親睦会
11 月	第 2 回部門勉強会

12月	
1月	経営戦略会議（工賃向上）、部門通信発行、業務改善振り返りアンケート
2月	研修発表会
3月	

※ 外部研修については、都度選考する。

（3）就労部門事業展開

2024年4月に就労継続支援B型（20名）：みのりが開所予定となっている。2024年度内に経営状況の安定が図れるよう、集客に努めていく。

4. 事業目標（具体的取り組み）

法人理念・部門事業目標を加味した上で2024年度事業目標を下記事項に定める。

①ニーズに応じたサービスの提供と質の向上

支援やサービス内容、作業内容等、地域からどのように求められているかを把握し、柔軟に対応できるように体制づくりに努めていく。面談を通じてご利用者のニーズを把握し、必要に応じて作業や支援の内容に変化や修正を加えていくことで、個々のニーズに応えられる満足度の高い事業所を目指していく。また、職員の接遇面における勉強会の実施や課題解決への取り組みを行い、質の高いサービス提供に努めていく。

②働きやすい環境づくり

年に1度、実施している職員へのアンケートや自己申告書を基に、職員一人ひとりの意見や要望を抽出し、迅速に解決できるよう努めていく。業務の効率化に重点を置き、労働環境を整えるとともに、職員の強みを生かした業務分担等を行うことで、職務に対する満足度の向上を図り、職員一人ひとりの求めるワークライフバランスの実現に繋げていく。また、定期的実施する職員との面談や聞き取りで挙げた意見を全員で共有し、意見の出し合いができるチームとなるよう環境づくりに努めていく。

③安定した事業運営

2024年4月より新規開所となるため、地域の相談支援事業所を中心に、支援学校やその他関係機関との連携を強化し、集客の安定を図っていく。選ばれる事業所となるよう環境を整えながら、事業所の特色を見出し、特色や魅力の伝わるパンフレットを作成し、関係機関への営業活動を行っていく。また、工賃や就労意欲の向上だけでなく、楽しみや魅力のある事業所づくりを行うことで、ご利用者の更なる満足度向上を図り、安定利用に繋げていく。

5. サービス向上（苦情解決・サービス満足度向上）への取り組み

直接支援の質向上や権利擁護に関する意識の向上は勿論、安全・安心に過ごしていただけるよう、環境整備についても具体的な取り組みを行い、サービスの向上を目指す。

苦情処理体制の整備・拡充を図るとともに、苦情の際は迅速且つ誠意ある対応を行い、利用者の信頼と満足度を損なわぬよう努める。また、法人第三者委員とも連携を図っていく。

サービス向上部会と連携し、全事業所を対象とした満足度調査等を行い、利用者一人一人の

意見・要望に応じていく。

6. 研修計画

職員一人一人の能力の向上、組織体としての能力向上を目的とする。

法人研修、部門勉強会、事業所勉強会、個人研修（外部研修）を中心に活動を行う。

また、就労部門として人材育成の観点から専門的知識の向上を図る勉強会にも取り組む。

7. 防災計画

事業所内の防災設備が円滑に機能するよう、自主点検を励行し災害時の被害拡大の防止に努める。

火災・地震・水害が発生した場合、ご利用者に安全確保が迅速に行えるよう、年2回以上の防災訓練を実施する。

法人防災委員会と連携し、緊急時の対応や日々の災害対応への啓蒙活動を行う。

事業所内における利用者の防災意識を高めるべく、啓蒙活動等に取り組む。

8. 車両安全運行計画

事業所送迎サービスを安全且つ安心して運行できるよう、職員一人一人の安全運行意識を向上させ事故を無くす取り組みを行う。

万が一の事故時の対応が迅速にとれるよう、非常時の連絡体制の更なる強化を行う。

法人車両安全運行委員会と連携し、緊急時の対応や日々の安全運行対応への啓蒙活動を行う。

9. 安全衛生計画

事業所における衛生面やハード面の清潔・整備について、職員一人一人が常に意識し、業務マニュアルに組み込んでいく。また、ノロウイルス及びインフルエンザ等の感染症対策、啓発活動に積極的に取り組む。また、より良い環境作りを積極的に行い、職員全体の環境美化に対する意識の向上にも取り組む。衛生面において法人安全衛生委員会との連携を図っていく。

10. 広報計画

事業所のパソコンやその他周辺機器の管理を行い、適切な情報の取り扱いに努める。

また、記憶媒体の取り扱いの徹底も併せて行う。

法人広報誌やホームページを活用し事業所の活動内容を保護者、地域の方々へ伝えていく。

11. 職員配置予定表 (2024年4月1日)

(単位：名)

	管理者	サービス 管理責任者	目標工賃 達成指導員	職業指導員	生活支援員	合計
常勤職員	1(※)	1(※)	1	1	1	6
非常勤職員					2	

※ 管理者、サービス管理責任者は兼務

12. 職員の勤務体制予定表 (2024年4月1日)

勤務	時間	労働時間 (休憩時間)
A 勤	8 : 00 ~ 17 : 00	8 時間 (1 時間休憩)

13. 利用延べ人数及び開所予定

① 開所状況 (就労継続支援 B 型) (単位: 日)

	2024 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	2025 年 1 月	2 月	3 月	合計
開所数	22	22	22	23	21	21	23	22	22	22	20	22	262

② 就労継続支援 B 型実人数 (定員 20 名) (単位: 名)

	2024 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	2025 年 1 月	2 月	3 月	合計
述べ数	440	440	440	460	420	420	460	440	440	440	400	440	5,240

14. 年間行事 (案)

実施月	実施行事
4 月	外出活動 (花見)
5 月	避難訓練 (火災)
6 月	外出活動 (買い物)
7 月	避難訓練 (水害)
8 月	外出活動 (食事会)
9 月	秋祭り
10 月	避難訓練 (震災)
11 月	外出活動 (散策)
12 月	クリスマス忘年会
1 月	避難訓練 (不審者)
2 月	室内レクリエーション
3 月	お疲れ様会

15. 資金計画

別紙収支予算書のとおり。